

自治体、市民、NPO、関係企業、研究者、学生の皆さま
これからの地域が元気になる脱温暖化社会への社会実装戦略を語りあいましょう

戦略提言シンポジウム -5年間の成果総まとめ-

地域が元気になる 脱温暖化社会も!

2013年11月21日(木) 10:00~17:00 定員250名 参加費無料
於 TEPIAホール* (東京メトロ銀座線外苑前駅下車徒歩5分)

【プログラム】詳細はホームページをご参照ください

基調報告 領域の成果と提言

10:00-10:30 「環境・エネルギー分野の研究開発に社会技術的手法を導入し、
地域が元気になる脱温暖化社会を!」 堀尾正毅 (領域総括)

第一部 プロジェクトの成果 ショート・プレゼンテーション

(詳細はポスターで発表)

10:30-11:40 地域の資源で地域がうろうおう再エネ・省エネ社会をめざす

- 1-1 地域の資源を地域で活用する
- 1-2 適正な再エネ・省エネ技術とそれを支える仕組みづくり
- 1-3 「まちなごネットワーク」と「ネットワーク型人材」で再エネ・省エネ社会を実現

11:50-12:30 温暖化・再エネ時代の新しい価値とシステムの創造をめざす

- 2-1 再エネで人口の「共生対流」を促し、百業的生存戦略を展開する
- 2-2 消費者・流通・生産者の協働でバリューチェーンの脱温暖化イノベーションをすすめる

12:30-13:30 ポスターセッション

第二部 わたしたちが目指すべき環境・エネルギー社会づくり直しシナリオとは
— 提言の根拠を確認する —

13:20-15:10 パネル討論1 「環境・エネルギー分野の開発に社会的な手法を導入する」

15:20-16:30 パネル討論2 「地域社会への実装に向けて—社会技術の共有化へ—」

16:30-16:50 まとめ

16:50-17:00 閉会挨拶 泉紳一郎 (社会技術研究開発センター センター長)

*プログラムは都合により、事前の告知なく変更する場合があります。

- 地域資源を地域で活用する
主体とルール作り
- 適正な再エネ・省エネ技術
- 消費者・流通・生産者の協働
- 人口「共生対流」と百業的生存
- 脱温暖化ネットワーク型人材・学習

※【会場案内】TEPIA ホール

(2Fレストラン側からお入りください)

〒107-0061 東京都港区北青山2丁目8番44号 TEL:03-5474-6111 (www.tepia.jp)

東京メトロ銀座線 外苑前駅 (3番出口) から徒歩5分 / JR千駄ヶ谷駅、または信濃町駅から徒歩14分
都営大江戸線 国立競技場駅から徒歩11分、または青山一丁目駅から徒歩9分

▶お問合せ先 シンポジウム事務局 (株)博秀工芸内 〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-5
Tel:03-5818-5916 (受付時間 平日10:00~17:00) E-mail:env-sympo@hakushu-arts.co.jp

*本シンポジウムは、インターネットでのライブ中継を行う予定です。詳細はシンポジウムHPでご案内致します。

参加申込・詳細 <http://www.hakushu-arts.co.jp/sympo2013/index.html>

後援 (予定)

総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、
国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、
全国地方新聞社連合会、日本エネルギー学会、エネルギー・資源学会、
日本公共政策学会、自治体学会、科学技術社会論学会

主催: (独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

YOKOVISION

